

事業所名

ラポール発達教室Coral

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

10 月

11 日

法人（事業所）理念		あなたに会いたい。あなたを知りたい。あなたと一緒に笑いたい。								
支援方針		安心で安全な守られた環境を作りお子様の笑顔いっぱいな支援を目指すために、専門知識を持ったスタッフが中心に身体の特性を把握し、負担なく思いっきり身体を動かせるその子だけの公園をつくります。その中で「やりたい!」「やれた!」と能動的に身体を動かし、身体のを整えていきます。								
営業時間		9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<p>安心できる環境で身体を動かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めと終わりを明確にしていく。流れを一定にし、慣れていけるようにする。 ・好きな感覚や安心できる遊びを通して療育者と信頼関係を作る。 ・特性や感覚受容に配慮して安心できる環境を提供する。 ・視覚支援を活用し、本人に分かりやすいようにやることを明確にする。 								
	運動・感覚	<p>感覚統合遊具を通して粗大運動をたくさん経験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな感覚や身体への理解に必要な感覚（触覚・前庭感覚・固有感覚）に満たされるような遊びを経験する。 ・遊びを通して姿勢保持する力を養う。 ・様々な遊びを経験していきボディイメージを養う。 ・スモールステップで協調運動に挑戦していく。 								
	認知・行動	<p>一人一人の特性を踏まえて行動範囲を広げ、わかることやできることを増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を通して人とかかわりや関係を構築していく。 ・安心できる物や遊具を把握し、行動範囲を広げていく。 ・身辺自立に繋がるように生活において必要なスキルを学ぶ。 								
	言語 コミュニケーション	<p>言語の受容と表出を促し、コミュニケーション能力の向上を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指さしやジェスチャーその子にとって最適な要求方法を育む。 ・視覚的に分かりやすい方法を用いて、他児や大人とのやりとりを経験する。 ・場や相手、状況に応じてコミュニケーションを展開できるように支援していく。 ・やりたいことの準備や片付けなどを通して、身体を使つての表現の仕方を学ぶ（無発語）。 								
	人間関係 社会性	<p>多様な体験を通して、他者との関わり方や人間関係の基礎や社会性を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体を使った遊びを通して信頼関係を育み、人と関わることの楽しさを知る。 ・順番や待つなどの社会における基礎的なルールを学び、相手と会わず力を培う。 ・自主的な望ましい行動へと繋がるように外的動機づけを活用しながら社会性へと結び付けていく。 								
家族支援		保護者から依頼がある場合には、面談や電話など相談を行っていく。また、必要に応じて療育様子を動画などでご覧いただき、児の発達に関することや特性についてお知らせしていく。			移行支援		保護者に児の様子を伺いながら必要に応じて相談支援専門員と情報を共有して現状把握に努め、支援へと繋げていく。			
地域支援・地域連携		必要に応じて相談機関や関係機関と連携を図る。また、保育所等訪問支援の活用も提案していく。			職員の質の向上		月1回程度の事業所内研修もしくは、外部研修を実施している。また、その他必要な研修（随時）を行っている。資格支援制度があり、職員の資格取得を補助している。			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度子どもたちと一緒に避難訓練を行う。また、職員で避難経路の確認を行い災害時に備えている。 ・事業所内の備品や設備、遊具などの点検を定期的に行い、事業継続（BCP）ができるように取り組んでいる。 								